



社会福祉法人 吉備路の会

吉備路学園

第44号

平成27年4月30日 発行

発行
社会福祉法人 吉備路の会
吉備路学園
〒719-1155
岡山県総社市小寺1553番1
TEL (0866) 92-6580
<http://kibijigakuen.ecgo.jp>



4月 お花見



7月 加工2グループ外出



8月 加工1グループ外出



12月 クリスマス会



1月 家政グループ外出



1月 生活グループ外出

自分で理解したり、判断したり、表現することの困難な知的障害の人にとって、私たちの援助者の姿勢・考え方を改革することが重要な課題といえるのではないだろうか。

どんな人にも、かならずきりと光る素晴らしい面があります。たとえば、知的障害の人を援助するときに、この一人ひとりのよい所を見だし、援助者がそこから尊敬することが何よりも重要であると思います。だれでも自分の良い点を他人に認められて初めて自分に自信を持ち、またその人にも安心感を覚えて心を開き、その助言を受け入れることができるのではないのでしょうか。

「障害」はその人の一部であって全部ではないこと、一人ひとり立派な人格を持つ人であること、さらに「障害」はその人だけの問題ではなく環境との関係で生じるので環境の改善が重要であること、そして、直接に援助する私たちの態度によって、その人の人生の意義が左右されることを忘れないようにしたいものです。

判りきった話ではありませんが、こうした気持ちが薄れてきているように思うこの頃であります。これからもずっと知的障害者の方に心から尊敬の念を持ち続けたいと思います。

「尊敬の念を心から」

統括施設長 小原 章弘



加工1グループ 一年を振り返って

支援員 伊原 良高

今年は年度途中に新しい仲間が一名来られて十六名で軍手作業や外出を楽しみました。軍手作業は各利用者の特性に合った作業内容を提供して、毎日頑張っています。班での外出は利用者の希望を聞き、三コースに分かれて行くなど利用者主体で楽しむことができました。残念ながら年度途中で二名の方が病気をされ入院されました。今後も、利用者の健康管理・体調管理には気を付けていきたいと思います。

加工2グループ 一年間を振り返って

支援員 片山 茉美

今年度は利用者九名でウエス作業を行ってきました。少ない人数で作業を行う為、一人ひとりへの役割が大きく、それぞれの得意分野をいかせるように活動をしてきました。食べる事が大好きなメンバーであった為、ぶどう狩りやバーベキュー等、二コースに合った外出を企画していただきました。食べるばかりにはならないよう、週に一度は必ずウォーキングを出来る日を設け、健康に留意しながら、楽しく一年を過ごす事が出来ました。

家政グループ 一年を振り返って

支援員 小野 祐喜子

手芸品制作は、個々の能力を活かした作業を行うことで、前向きな姿勢で取り組む事ができ、一人一人の成長が窺えました。洗濯は、一人一人の自発性を大切に、各々が出来る事を役割をもって行うよう支援しました。そうする事で自発性にも繋がったように思います。高齢化が進み、体力面での配慮に加え、みんなが楽しく生き生き暮らせるよう情緒面の配慮も更に必要になってきました。今後も皆さんが健康で笑顔溢れる日々が過ごせるよう支援していききたいと思います。



ボーリング大会



海水浴

みぞくちの

一年を振り返って

管理者 延原 良純

今年一年を振り返ってみると、就労B型の利用定員を十人から十五人に変更したり、生活介護を利用される方へ手厚い支援が行き届くよう、生活支援員を五名増員する等、組織的にも変化してきた年と言えます。みぞくちが活動していく目的は、利用される皆さんの毎日が有意義な時間となるよう力を尽くすことです。今後も皆さんの活動のために必要な変化を積極的に行っていくます。

GH一年を

振り返って

管理者 村上 雅昭

グループホーム井手は昨年度、グループホーム中央(Ⅰ)・(Ⅱ)の二箇所の増設、合計六名の増員を行いました。グループホーム中央(Ⅱ)の利用の方に関しては体験利用を活用していきながら、入居後に充実した生活を送ってもらえるよう計画的にサポートを行いました。また、昨年度は四月からのグループホーム一元化に伴い、グループホーム単独型から介護サービス包括型に切り替え、重度の方の支援の充実を図りました。現在も、十分な支援は行えて

昨年度を

振り返って

管理栄養士 水谷 絵理

利用者一人ひとりに合わせた食事の提供を行うとともに、食事を楽しくんでいたために日本各地のB級グルメを取り入れるなど、普段食べることのできない料理を味わっていただきました。現在、治療食は糖尿病食、透析食、脂質異常症食、貧血食、減塩食と種類が増えています。薬と食事の両面からサポートをしている状態ですが、利用者の高齢化が進む今、生活習慣病の予防を最優先し、健康で長生きできるような食事の提供に努めていきます。



いせんが、高齢化を踏まえた介護サービスも含め、本来の趣旨である入居者の方が住み慣れた場所であく生活がして頂けるようしっかりとした形を整えていきたいと考えています。

生活グループ

一年を振り返って

支援員 牧野 隆久

天気の良い日には北公園に行き、それぞれのペースで元気に散歩しました。利用者さんの特性に応じてビーズ通しや塗り絵、シール貼り、モップかけ等にも取り組んでもらいました。グループ外出ではバーベキューをしたり回転寿司を食べにいったりと、充実した時間を過ごすことができました。

体調を崩して入院した方もいましたが、現在ではみなさん元気に過ごしています。四月からは新しいグループ編成になりますが、健康で楽しい生活を送ってもらえるよう引き続き支援していききたいと思います。

一年を振り返って

看護師 浅沼 静子

この一年は入院が多い年でした。十二人の方が入院し、そのうち五人の方が手術を受けました。中でも夜間救急車で搬送され緊急手術になった時には、関係者に連絡がとれず困りました。検査・入院・手術には保護者の承諾が必要です。

その対策として先日、保護者の皆様に緊急時の対応の承諾書を書いていただきました。重ねて夜間も連絡がとれる様、お願いしたいと思っています。

自治会

一年を振り返って

支援員 大月 和樹

自治会では、七月の北小学校夏祭り、十月の北公園での交流祭、十一月の北分館ふれあい祭りでジュース販売を行い、地域行事に参加しつつ、地域の方々との交流を深めました。また、月に一回、学園の花壇の植え替えや草抜きを行い、学園を訪れる方々に気持ち良く季節を感じてもらえるよう花壇の手入れを行っています。今後も地域への参加を通じ、交流を深めていきたいと思います。



新任・退職のおしらせ

《新任職員紹介》

〈吉備路学園〉

平成二十六年十二月十七日付

支援員 高原 まさ美

〈多機能型事業所みぞくち〉

平成二十七年二月二日付

支援員補助 坪倉 なみ

〈グループホーム井手〉

世話人 川邊 サグ子

《退職職員》

平成二十六年十月十一日付

世話人 片岡 恵美子

平成二十七年二月二日付

支援員 光延 文香

寄付・寄贈・ボランティア協力

平成二十六年十一月二日、
平成二十七年三月三十一日
〈敬称略・順不同〉

《寄付》

山陽フードサービス

総社市手をつなぐ育成会

総社市総社地区社会福祉協議会

河相正之 窪比アノ調律所

総社市阿曾地区社会福祉協議会

吉備路学園家族会

《寄贈》

学習支援くらぶくらら

佐々木祐佳 白神隆義 横田一夫

《ボランティア》

ヘアユニットリーラ

障害者ふれあいボランティア養成講座



クリスマス会

編集後記

春の訪れを感じる頃になりました。吉備路学園も今年で二十五周年を迎えることができました。班編制を新しく変え、四月からまた楽しく活動しています。そして新しい作業場としてプレハブを建てました。今年度も広報誌やホームページを通して様々な活動や取り組みなどを紹介していきたいと思っています。よろしくお願ひします。